

## 武漢事務所便り週間新聞記事報告 5 号 2011.5.7-2011.5. 13

2011 年 5 月 10 日付け「長江日報」により

**輸入食品は中間業者が多いため、高く販売されているが、利潤は少ない**

輸入食品店は外装が綺麗で高級な雰囲気であるというのが一般的なイメージである。商品の価格が高く、多くの経営者はその中で儲かっているように見えるため、出店する人が殺到した。しかし、取材により、実際、輸入食品の利潤はそれほど大きくなく、仕入先、食品安全などのリスク問題が多く存在していることが分かった。

仕入先を聞くと、ほとんどの店主はあまり話したがらない。そのような中で、記者は少しの情報を手に入れた。以前輸入食品貿易会社で働いていた曾さんの話によると、輸入食品は一般的に 1 社の中国の総代理店があり、その下に地域代理店がある。多くの貿易会社は各地域の代理店から仕入れし、またその商品を取りそろえ、輸入食品専門店で転売する。このように何回も転売されるため、輸入食品の利潤は思うほど大きくない。

目下、武漢市場の食品店は加盟の形が最も多く、最も安い加盟費はわずか 1 万元で、10 万元を投資すると店が開業できる。しかし、以前ある輸入軽食チェーン店に加盟したことがある陳さんの話によると、加盟してからわずか 3 年でやむを得ず店を閉めたという。

2011年5月11日付け「荆楚ネット」により

## 武漢は駐車場53カ所を新規設置する

武漢市自動車数は既に70万台を超えたにもかかわらず、公共駐車場はわずか8508ヶ所しかない。昨日、三鎮中心地域の主要な街に駐車場53カ所が設置されることが発表された。武昌の黄鶴楼、水果湖、積玉橋、梨園広場、洪山公園、秦園路などに20ヶ所、漢陽地域の帰元寺、鐘家村などに5ヶ所、漢口の西北湖、漢正街、田田広場などに20ヶ所配置する予定だ。

そのうち、西北湖、黄鶴楼の2ヶ所の駐車場が年内に完了する見込みだ。1ヶ所は西北湖路の両側の20メートルの緑化帯の地下に設置し、640台分の駐車スペースを提供できる。もう1ヶ所は黄鶴楼公園の新しい入口のそばに設置し、地上と地下の二層構造で、合計300台分の駐車スペースを提供できる。その他数ヶ所の駐車場については現在既に施工計画途中である。

企画編成側の武漢市都市企画設計研究院の紹介によると、中心地域の用地は徐々に足りなくなっているため、街頭の緑化地で地下駐車場を作るとは公共地の利用率を高め、駐車問題を解決するための近道という。